

高齢者大学受講生募集
～各校とも5月開校～

2019年度高齢者大学を各地区で5月に開講します。受講を希望される方は、コムコムまたは各公民館へ運営費を添えて申し込みください。
【各大学共通】
対象者 55歳以上の方
運営費 1000円

■高鷹大学
テーマ 「自分の学びを地域のために」
内容 全体講座等年6回程度
(クラブ活動は月1～2回程度)
受付期間 4月1日(月)～12日(金)
開校 生涯学習課 ☎62・1130

■合川ことぶき大学
テーマ 「仲間とともに、であい・ふれあい・まなびあい」
内容 年8回実施予定(学習会や移動教室、スポーツレクなど)
受付期間 4月1日(月)～19日(金)
開校 合川公民館 ☎78・2114

■森吉大学
テーマ 「仲間と学ぼうふるさと再発見」
内容 年7回実施予定(講演会、移動研修、学習会など)
受付期間 4月1日(月)～15日(月)
開校 森吉公民館 ☎72・3259

■阿仁生き生き大学
テーマ 「仲間と交流 心豊かな生活を」
内容 年6回実施予定(講演会、移動研修、スポーツ交流など)
受付期間 4月1日(月)～17日(水)
開校 阿仁公民館 ☎82・2220

■第9回カムバック縄文サーモン
開校 文化係 ☎62・6618
伊勢堂岱遺跡の東側を流れる湯車川にサケの稚魚を放流します。参加を希望される方は、長靴をご持参のうえ、伊勢堂岱縄文館にお集まりください。
日時 4月6日(土) 13時30分～
※参加費無料、事前申込不要です。

■伊勢堂岱遺跡の一般公開
開校 文化係 ☎62・6618
伊勢堂岱縄文館 ☎84・8710
国指定史跡「伊勢堂岱遺跡」の一般公開を次のとおり開始します。
公開開始 4月20日(土)～
公開時間 9時～16時 ※入場無料
※縄文館が休館の日は遺跡も閉鎖となります。

■新公民館長の就任
開校 前田公民館 ☎84・8770
◆前田公民館 柴田 榮則(新任)
～よろしくお願ひします～

～地域で学び、活動する皆さんを応援します～
北秋田市教育委員会
学びの広場

世界に1つだけのフォトフレーム
～放課後子ども教室「鷹巣いきいきタイム」～

子どもたちの放課後の安全・安心な居場所を確保し、体験活動を通して遊んで学ぶ「放課後子ども教室」が、2月19日に鷹巣小児童クラブで行われ、小学生約60人が参加しました。
この日は、大館市の子育て支援団体アミュージングサポート『あそぶ』(佐々木敦子代表)の皆さんを講師に迎え、世界に1つだけのフォトフレーム作りに挑戦しました。
参加した児童は、造花やビーズなどの様々な飾りをフォトフレームの木枠のどこに付けるか考えなが

ら、接着剤を使って飾りつけ、オリジナルのフォトフレーム作りを楽しみました。



▲完成をイメージしながら飾りつけをする児童

地域教育力の向上を目指して
～地域学校協働活動推進研修会～

地域学校協働活動推進研修会「子どもの未来を考える講演会」が、3月17日に北秋田市交流センターで行われ、市内外から約50人が参加しました。
この日は、岡山大学全学教育・学生支援機構准教授の中山芳一さんを講師に迎え「学力テストでは測れない非認知能力が子どもを伸ばす」と題し、講演をしていただきました。非認知能力は、粘り強さや協調性、自制心などのことで、主に家庭環境や学校の課外活動で培われると言われています。中山先生は、子どもたちの非認知能力を育てる取り組みにつ

いて語り、参加者は学力の高さと非認知能力の関わりと子どもの育成について理解を深めました。



▲子どもの学びへの仕掛けづくりを学びました

栄公民館リニューアルオープン
～利用申し込みを受付中～

老朽化により改築工事が進められていた栄公民館(亀山祐悦館長)が、4月1日にリニューアルオープンしました。利用の申し込みは、栄公民館(☎62-0744)へ直接申し込みください。

◆会場使用料

区分	使用料(1時間当たり)	
	入場料なし	入場料あり
大ホール	810円	1350円
会議室1～3	270円	400円
調理室	540円	



▲外観と広々とした大ホール



▲公民館内の配置図

未来・紡ぎ人 ⑪

このコーナーでは、地域の未来を時間をかけてつくりあげている(紡ぐ)方々を紹介しています。

○前山郷土芸能保存会
会長 小笠原忠夫さん(前山)



雑魚釣り舞を踊る小笠原会長(左側)

◇どのような芸能ですか

前山郷土芸能の始まりについては、約250年前(江戸時代中期)に、佐竹氏が秋田入りしたときの大名行列が原型と伝わっています。踊りは、大名行列「獅子踊り」「奴踊り」「雑魚釣り舞」で構成されており、昔は「棒使い」や「雑刀使い」といった演目もありました。奴踊りは元々ほかの地域のものを取り入れたと聞いています。

◇どのような活動をしていますか

保存会は現在18人で、練習は7月から1週間程度行います。8月の踊りの時は、約20年前から小学生から高校生も参加してもらって、40人ほどで演じます。今では2、3歳の子どもも参加しています。

◇芸能を伝えるために、どのような工夫をしていますか

獅子踊りは10年間途絶えました。当時は若い人も多くいたので、すぐに復活できると考えていましたが、実際は踊り手が確保できなかったりと、思うようにいきませんでした。あきらめかけた時に、若手3人が決断してくれて、ようやく復活となりました。

また、笛の吹き手の継承も課題の一つです。笛は人から人へ教えるのが確実で、音を譜面にしたところで復元はとも難しいと思います。獅子踊りの復活もそうですが、一度途絶えると復活は容易ではないことを感じていますので、将来のために細かな記録を残すことも大切と考えています。

◇前山郷土芸能のPRを

毎年8月13日15時30分頃から雷皇神社をはじめに集落内5ヶ所披露します。ぜひお越しください。